

中経論壇

経営支援NPOクラブ
井料 敏和



72歳で喪たきりだった女性が、90歳の現在、元気に手島興行を行っている。聞いたところ、多くの人は信じられないと思われ、笑って心身を元気にするとは、話には聞いても実感はなかったが、先日、それを目の当たりにする機会を得た。

経営支援NPOクラブの総

券が名刺に、レントゲン撮影が記念写真に、黒髪結がスマ

会が、5月下旬に行われたが、総会後のアトラクションに登場したのが、魔術師とマジックショーで全国を駆け回っている斎藤和文さんと相方のひろ子さん。このひろさんは、

元気な90歳

「光輝高齢者」を目指して

亦に変わり、今やLINEやFacebook ookも使っている。私も経営支援NPOクラブのメンバーの平均年齢は72歳で、ひろさんが喪たきりから立ち上がった年代にあたり、私も、会社をリタイアした後の、社会貢献に努めたいという思いで集っているのですが、ひろさんからは、「まだ72歳」を「まだ72歳」と思っています。平均寿命100歳時代が言われる中、私たち高齢者の意識改革も必要なのを強く感じました。多くの会員が同じ思いで、まずは言葉から変えていくと話し合いました。それをふまわしい生活方を求めて、「生涯現役・生涯元気・生涯青春」をモットーに、中小企業支援というNPO活動に取り組む思いを新たにしました。

が、5月下旬に行われたが、総会後のアトラクションに登場したのが、魔術師とマジックショーで全国を駆け回っている斎藤和文さんと相方のひろ子さん。このひろさんは、何とも元気な90歳だ。病院で喪たきりだったのが、斎藤和文さんと出会って、一掃、手品を学ぶうちに、元気に生まれ変わり、90歳を迎えて、ますます健康というのです。ひろさんは、ステージに上がるたびに人気者になり、観客券が名刺に、レントゲン撮影が記念写真に、黒髪結がスマ